

シンポジウム 実験-数理細胞シミュレーション 共同研究の新たな局面：創薬展開への可能性

2015年8月6日（木曜日）、13:00-17:05

会場：東京大学医科学研究所 1号館講堂

主催：東京大学医科学研究所
細胞実験・シミュレーション研究会

共済：東京大学 TR 機構
株式会社 True Cell Simulations

プログラム

司会：東京大学 TR 機構特任教授 加藤益弘

13:00-13:05 シンポジウム開催にあたって（東京大学名誉教授 清木元治）

13:05-14:50 実験-シミュレーション共同研究事例 1

13:05-13:40 がんの浸潤におけるメタロプロテアーゼ MT1-MMP の制御

実験側からの報告（神奈川県立がんセンター 星野大輔）

数理側からの報告（大阪大学大学院基礎工学研究科教授 鈴木 貴）

13:40-14:15 転写因子 NF- κ B の核-細胞質間振動と遺伝子発現

実験側からの報告（東京大学医科学研究所教授 井上純一郎）

シミュレーション側からの報告（TCS 代表取締役 市川一寿）

14:15-14:50 Ras-ERK 経路の拮抗因子 DA-Raf の細胞・生体機能とその分子機構

実験側からの報告（千葉大学大学院理学研究科教授 遠藤 剛）

シミュレーション側からの報告（TCS）

14:50-15:05 休憩

15:05-16:15 実験-シミュレーション共同研究事例 2

15:05-15:40 ストレス顆粒形成によるストレス応答の制御

実験側からの報告（東京大学医科学研究所教授 武川睦寛）

シミュレーション側からの報告（TCS）

15:40-16:15 細胞接着分子 CADM1 のダイナミクス

実験側からの報告（東京大学医科学研究所教授 村上善則）

シミュレーション側からの報告（TCS）

16:15-17:00 パネルディスカッション及び質疑応答

モデレータ：加藤益弘

パネラー：井上純一郎、村上善則、武川睦寛、遠藤 剛、星野大輔、
鈴木 貴、市川一寿

17:00-17:05 閉会のご挨拶（東京大学医科学研究所教授 村上善則）